事業報告用

令和3年度

事業報告書

特定非営利活動法人 全国盲導犬施設連合会

1 事業の成果

「ともに生きる、ともに歩む」を共通の理念に、全国の盲導犬訓練法人施設の連合体として、視覚障害者が盲導犬を使用し自立と社会参加を図れるよう、広く盲導犬の普及啓発、相談、盲導犬無償貸与への助成を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【53,185】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	受益 対象者 範囲	受対者 者数 人数	事業費 (千円)
普文文	・テート・カー・カーのボーターのでは、ストラーのでは、ストラーのでは、ステーのでは、ステーのでは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	4月1日~ 3月31日 9月~3月 4月31日 7月 6月31日 7月 6月31日 3月31日	・店・・者館・設・係・店・店・員金企・店・・者館・設・係・店・店・員金企・高、行寄置・寄各・全頭・1、箱業・1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、	職員2名職員2名	・・民体・ ・箱業 ・箱業 ・箱業・箱業・箱業 ・箱業・箱業・箱業・箱業・箱業・箱業・箱業・箱業・箱業・箱業・箱業・箱業・箱業・	約万 約万 11 1 1	14,624
相談事業	・盲導犬貸与希望、入店拒否、使用者相談、事業者・市民相談など173件を受付対応し、具体的な解決を図った。 ・盲導犬ユーザーなどへのルーム通報について、活解決対応犯ーチャートにかって、所解決対応ののがまた。	4月1日~ 3月31日 4月1日~ 3月31日	•事務局相談室 室 •事務局相談室	職員4名	・・民体 ・犬・・民行 ・・民体 ・犬・・民行 ・・民体 ・犬・・民行 ・・民体 ・犬・・民行 ・・大・・民行 ・・大・・民行 ・・大・・民行 ・・大・・民行 ・・大・・民行 ・・大・・民行	約万 3人 9 3人 百 1	594

資格認定 事業	・盲導犬育成の担い手で ある訓練施設職員を対 象に資格認定審査会を 開催し、盲導犬歩行指導 員4名、盲導犬訓練士6 名の計10名を資格認定 した。	3月10日	認定審査会場として学科・からいによる実技審査を実施。 オッティンにて面接を実施	名			587
職員養成支援研修事業	・盲導犬歩行指導員等資格認定審査申込者を対象に、スクーリングとして、盲導犬育成ジャパンセミナーへオンラインでの参加及び発表を行わせた。・加盟施設職員交流とっか別に「①盲導犬パピープログラム、②犬舎管理」の2事業を実施した。	2月8日~ 9日 ①3月3日 ②3月17日	・日本盲導犬協会神奈川訓練センター(オンライン併用) ①、②ともオンラインにて	職員3名職員2名	• 盲導犬育成訓練施設職員 ・ 盲導犬育成訓練施設職員	· 各 15名	262
使用者団体相互協力事業	・今年度は新型コロナ禍のため、全日本盲導犬使用者の会(団体賛助会員)総会は行われず、場でいる。 一・要員としての派遣は行わなかった。	なし	なし	なし	なし	なし	10
情報交換と大概等等	・訓練施設と盲導ででは、	3月31日	・ オンライン5回・ 日本盲導犬協会神奈川訓練センター (オンライン併用)・ 事務局	職員 4 4 8 8 8 8 8 4 4 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	・犬・訓・訓 ・大・訓・訓 ・大・訓・訓 ・施導施 ・一次 ・一次 ・一次 ・一次 ・一次 ・一次 ・一次 ・一次 ・一次 ・一次	約 人 約 100 名	1,013
財政基盤支援事業	・盲導犬育成訓練施設の 盲導犬無償貸与事業に かかる費用の一部助成 を 18 頭分行った。	4月1日~ 3月31日	• 盲導犬育成訓練施設	職員2名	・全国の盲導 犬使用者	約9百人	36,000
調査研究事業	・盲導犬育成訓練施設における新型コロナウイルス対策について調査を行った。	4月	• 盲導犬育成訓練施設	職員1名	・全国の盲導 犬使用者	約9百人	95
国際交流事業	新型コロナ禍のため、 今年度は行わなかった。	なし	なし	なし	なし	なし	0
顕彰事業	今年度は行わなかった。	なし	なし	なし	なし	なし	0

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

定款に記 載 された 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	事業費 (千円)
盲導犬グ ッズ販売 事業	実施しなかった。	なし	なし	なし	0